年間授業計画 新様式

八王子北 高等学校 令和５年度（１・２学年用）教科 家庭　　科目 家庭基礎

教 科： 家庭　　科 目： 家庭基礎　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ E 組

教科担当者：（A組：）　　（B組：）　　（C組：）　　（D組：）　　（E組：）

使用教科書：（ 家庭基礎 明日の生活を築く（開隆堂） 最新生活ハンドブック資料＆成分表（第一学習社）

教科 家庭　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】人の一生の家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や家族の生活課題を主体的に解決する力をつける。

【学びに向かう力、人間性等】生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

科目 家庭基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生の家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。	家庭や家族の生活課題を主体的に解決する力をつける。	生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元 子どもの発達と保育 【知識及び技能】 乳幼児の心身の発達と生活、親の役割について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 子どもを産み育てることの意義を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割について認識する	・指導事項 子どもの発達の特性・発達過程 子どもの生活・保育 子どもの福祉と子育て支援 ・教材 視聴覚教材 保育人形 折り紙 絵本 書籍 ・一人１台端末の活用 等	【知識・技能】 乳幼児の心身の発達と生活、親の役割について理解できているか 【思考・判断・表現】 子どもを産み育てることの意義、乳幼児の発育・発達に応じた適切な保育について理解できているか 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ活動に積極的に参加し、実践的な態度で授業に臨めているか	○	○	○	12
	B 単元 被服管理と着装 【知識及び技能】 被服材料、被服構成などの基礎的・基本的な知識と技術の習得 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じた着装の工夫ができる 【学びに向かう力、人間性等】 健康で快適な衣生活を営むことができる	・指導事項 被服材料の特徴と性能 洋服製作の基礎 ・教材 エプロン製作キット 裁縫道具 ・一人１台端末の活用 等	【知識・技能】 材料・製作・管理などについて科学的に理解できているか 【思考・判断・表現】 衣生活の文化に関心を持ち安全と環境に配慮し、主体的に衣生活を営むことができているか 【主体的に学習に取り組む態度】 被服実習に積極的に参加し、実践的な態度で授業に臨めているか	○	○	○	12
	定期考査			○	○		
2学期	C 単元 食事と健康 【知識及び技能】 健康で安全な食生活を営むために必要な栄養、食品、調理及び食品衛生の基礎的・基本的な知識と技術を習得 【思考力、判断力、表現力等】 安全と環境に配慮し生涯を見通した食生活を営む力をつける 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に食生活を営む力をつける	・指導事項 健康と食生活 栄養、食品、調理 調理実習 ・教材 視聴覚教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識・技能】 栄養、食品、調理、食品衛生について必要な知識と技術が身についているか 【思考・判断・表現】 安全は環境に配慮し、主体的に食生活を営むことができているか 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ活動に積極的に参加し、実践的な態度で授業に臨めているか	○	○	○	13
	D 単元 消費生活と生涯を見通した経済の計画 【知識及び技能】 生活における経済の計画、消費者問題や消費者の権利と責任について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 消費者としての適切な思決定に基づいて、責任をもって行動できるようになる 【学びに向かう力、人間性等】 消費者として主体的に判断できるようにする	・指導事項 消費行動と意思決定 消費者の権利と責任 ・教材 視聴覚教材 ライフサイクルゲーム ・一人１台端末の活用 等	【知識・技能】 消費生活の現状と課題、消費者問題や消費者の支援について理解しているか 【思考・判断・表現】 消費者としての権利と責任を自覚して行動できるようになっているか 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ活動に積極的に参加し、実践的な態度で授業に臨めているか	○	○	○	13
	定期考査			○	○		
3学期	E 単元 住居と住環境 【知識及び技能】 住居の機能、住居と地域社会とのかかわりに必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得する 【思考力、判断力、表現力等】 安全で環境に配慮した住生活を営む 【学びに向かう力、人間性等】 子どもや高齢者が安全に生活するなど間取りの変更やバリアフリーなど住空間の計画やデザインする態度を育てる	・指導事項 住生活と文化 住空間の構成と計画 住空間の環境 住空間の平面計画 ・教材 平面計画実習（シール教材） 視聴覚教材 ・一人１台端末の活用 等	【知識・技能】 住居の機能、住空間の計画、住環境について科学的に理解できているか 【判断・表現】 安全と環境に配慮し、主体的に住生活を営む力がついているか 【主体的に学習に取り組む態度】 調べ学習を主体的に行い、発表会に向け積極的な態度で授業に臨めているか	○	○	○	20 合計
	定期考査			○	○		70